

浄化槽保守点検記録 合併処理用―(新構造：昭和55年建設省告示第1292号)																
管 理 者 氏 名		電 話 番 号														
管 理 者 住 所																
設 置 場 所		岐阜市				施設番号										
処 理 方 式		告示 製造業者名				容 量		人槽 m ³								
浄化槽管理士名		(印)				登 録 業 者 名		登 録 番 号		第 号						
保守点検年月日		年 月 日				建築物の用途										
前 回 保 守 点 検 年 月 日		年 月 日				前 回 清 掃 年 月 日		年 月 日								
区分	項 目	点 検 内 容				点検結果	区分	項 目	点 検 内 容				点検結果			
共通	全般	本体及び付帯設備の設置状況					その他	か、はえ等の発生状況								
		各槽の水位・漏水の有無						排水ポンプの状況								
		駆動部の音、振動、熱の発生状況						配線系統・メーター類の点検								
		金属部分の腐蝕状況と注油						流入管放水管の接続状況								
	沈でん分離槽	汚でい等の状況					放 流 水 検 査									
		異物、夾雑物の有無					水 温	℃		外 観						
	スクリーン	目づまりの有無					臭 気			亜硝酸性窒素	+	-				
	流量調整槽	ポンプの作動状況					透 視 度	適		不 適						
		汚水の均等移送状況					残留塩素	適		不 適						
		スカムの発生及び汚水の腐敗状況					PH	適		不 適						
散気装置の作動状況					検査の判定は次によること											
接触ばつ気方式	接触ばつ気槽	生物膜の状況					30分SV	適		不 適						
		接触材と汚水の接触状況						10%以上 60%以下		10%未満又は 60%を超える						
		浮遊汚泥の状況						DO		1.0mg/l以上 1.0mg/l未満						
		DO		適・不 適		DO		1.0mg/l以上 1.0mg/l未満								
活性汚でい方式	ばつ気槽	活性汚でいの状況					透 視 度	20cmを超える		20cm以下						
		散気装置回転部分の異物のからみの有無					残留塩素	検 出		不 検 出						
		旋回流の状況					PH	5.8～8.6		5.8未満又は8.6を超える						
		MLSS		適・不 適												
		30分SV		適・不 適												
		DO		適・不 適												
共通	沈 で ん 槽	スカム等の状況					特記事項 改善工事 要 否 清 掃 要 否 そ の 他									
		汚でい引き抜き状況														
		上澄水中の浮遊物、臭気の有無														
		越流の均一性														
通	消 毒 槽	消毒薬の有無														
		接触、滞流状況														
	汚でい濃縮貯留槽	汚でいの濃縮状況														
		汚でいの堆積状況														

備考：点検結果欄については、適正なものには○印、不適正なものには×印を記入すること。